

下水第442号

令和7年12月12日

八千代市上下水道事業運営審議会 会長 様

八千代市事業管理者



「社会資本総合整備計画事後評価書（案）」に係る意見について（諮問）

八千代市上下水道事業運営審議会条例第2条第2項の規定により、下記のとおり諮問します。

記

1 諮問事項

「八千代市社会資本総合整備計画（下水道事業）事後評価」について

2 諮問理由

交付金事業を行うにあたり策定する「社会資本総合整備計画」について、当該整備計画により実施した事業の全てが完了した際、国が定めた「社会資本整備総合交付金交付要綱」等に基づき学識経験者等の第三者の意見による事後評価を実施する必要があります。

八千代市上下水道局においては、主に八千代市下水道ストックマネジメント計画に基づく事業等を実施するため、令和3年度～令和6年度（4年間）を期間とし2本の整備計画を策定いたしました。今回、整備計画に位置付けた事業が完了したことに伴い事後評価を実施するため、関係資料を添え、八千代市上下水道事業運営審議会へ諮問するものです。

3 諮問を実施する整備計画

- ①八千代市における流域一体となった総合的な下水道整備の推進（防災・安全）
- ②八千代市における流域一体となった総合的な下水道整備の推進（防災・安全）（重点計画）

4 答申いただく事項

事後評価につきましては、国の要領の中で次に掲げる事項について行うものとされております。

- ①要素事業の進捗状況
- ②事業効果の発現状況
- ③評価指標の最終目標値の実現状況
- ④今後の方針

今回実施いたします事後評価については、上記①～④を中心として各委員の方々からご意見を賜りたいと考えております。

なお、当該事項に関する市の考えについては、「社会資本総合整備計画事後評価書(案)」のP4・5並びにP9・10に記載をしております。

5 関係資料

- ・社会資本総合整備計画 事後評価書(案)
- ・社会資本総合整備計画事後評価に係る参考資料
- ・意見記入シート

社会資本総合整備計画事後評価書（案）

令和 7 年 1 2 月

八千代市上下水道局

【資料一覧】

I. 社会資本総合整備計画 事後評価書

・「八千代市における流域一体となった総合的な下水道整備の推進
(防災・安全)」(計画期間:令和3年度～令和6年度)

P2～5

・事業箇所図

P6

II. 社会資本総合整備計画 事後評価書

・「八千代市における流域一体となった総合的な下水道整備の推進
(防災・安全)(重点計画)」(計画期間:令和3年度～令和6年度)

P7～10

・事業箇所図

P11

社会資本総合整備計画 事後評価書																
計画の名称	八千代市における流域一体となった総合的な下水道整備の推進（防災・安全）															
計画の期間	令和03年度 ～ 令和06年度（4年間）												重点配分対象の該当			
交付対象	八千代市															
計画の目標	下水道施設の更新・長寿命化対策を推進することにより、市民の安心・安全な暮らしの確保を図る。															
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		545	A	545	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C／（A+B+C+D）		0	%	

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初	R4末	R6末
1	下水道ストックマネジメント計画に基づき、污水管渠の点検・調査を実施する。			
	污水管渠（幹線及び重要路線）の点検・調査実施率	0%	55%	100%
	点検・調査実施済みの污水管渠延長（m）／点検・調査を予定している污水管渠延長（m）			
2	下水道ストックマネジメント計画に基づき、污水中継ポンプ場の改築工事を実施する。			
	污水中継ポンプ場の改築工事実施率	0%	100%	100%
	改築工事実施済みの污水中継ポンプ場数（箇所）／改築工事を予定している污水中継ポンプ場数（箇所）			
3	下水道施設全体を一体的に捉えた次期下水道ストックマネジメント計画を策定し、計画的な点検・調査、修繕・改築を継続的に推進していく。			
	下水道ストックマネジメント計画策定の進捗率	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

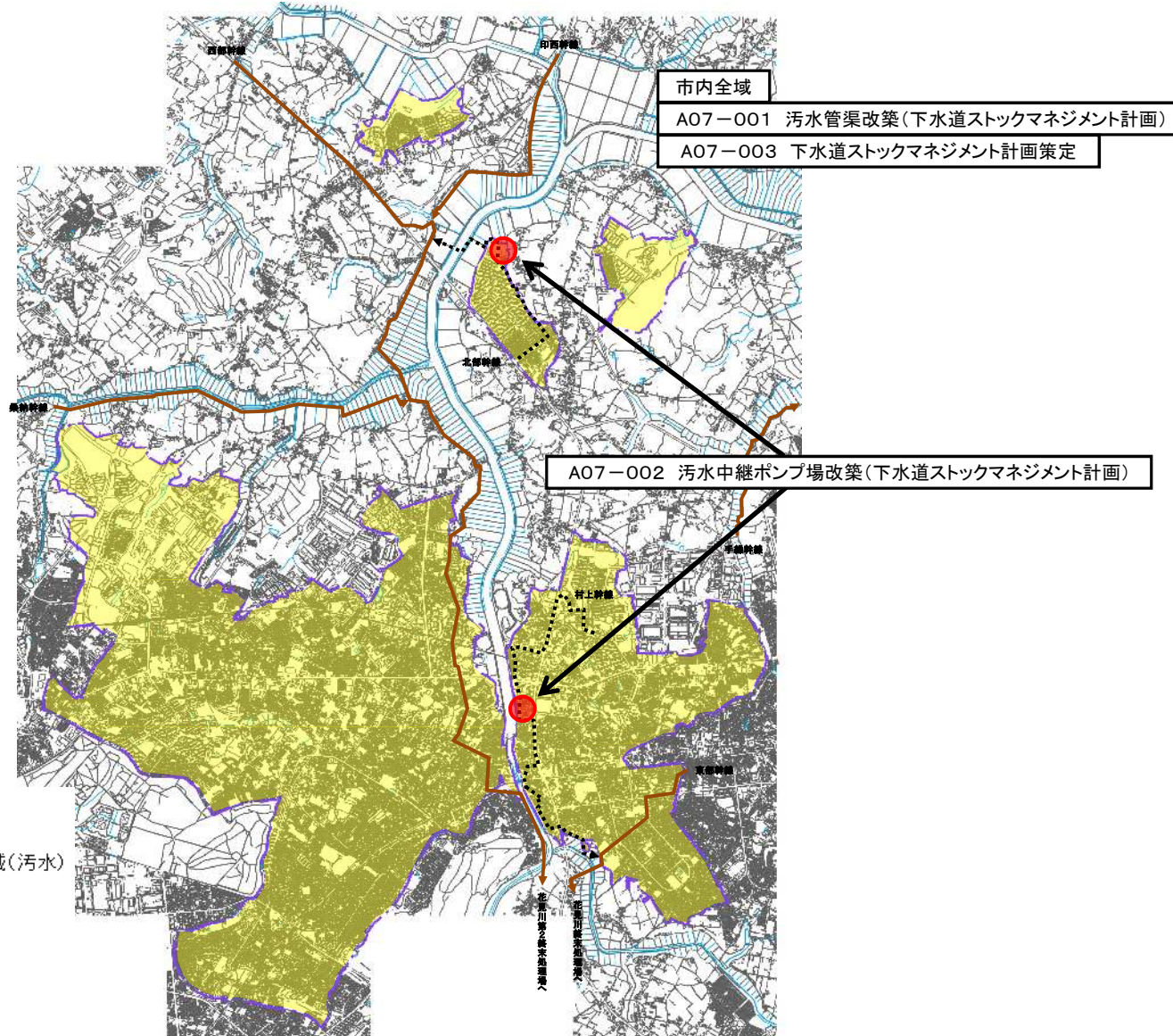
A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	八千代市	直接	八千代市	管渠（ 汚水）	改築	汚水管渠改築（下水道ス tockマネジメント計画 ）	実施設計、点検、調査、工事	八千代市	■	■	■	■		156		策定済	
		下水道ストックマネジメント																		
	A07-002	下水道	一般	八千代市	直接	八千代市	ポンプ 場	改築	汚水中継ポンプ場改築（ 下水道ストックマネジメ ント計画）	調査、工事	八千代市	■	■	■			353		策定済	
		下水道ストックマネジメント																		
	A07-003	下水道	一般	八千代市	直接	八千代市	－	－	下水道ストックマネジメ ント計画策定	計画策定	八千代市					■		36		－
		下水道ストックマネジメント																		
											小計							545		
											合計							545		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
八千代市上下水道事業運営審議会において事後評価を実施。	令和7年12月
	公表の方法
	八千代市ホームページに公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	計画的な下水道施設の点検・調査等を行うことにより、持続的な下水道機能の確保に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
引き続き計画的な点検・調査等を行うことにより、持続的な下水道機能の確保に努める。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	汚水管渠（幹線及び重要路線）の点検・調査実施率		
	最 終 目標値	100%	一部の路線の調査を見送ったが、概ね目標値を達成した。
	最 終 実績値	96%	
2	汚水中継ポンプ場の改築工事実施率		
	最 終 目標値	100%	目標値を達成した。
	最 終 実績値	100%	
3	下水道ストックマネジメント計画策定の進捗率		
	最 終 目標値	100%	先行して実施していたポンプの修繕工事に不測の日数を要したことにより、策定が令和7年度となったが、目標どおり計画を策定した。
	最 終 実績値	100%	

社会資本総合整備計画

計 画 の 名 称	八千代市における流域一体となった総合的な下水道整備の推進(防災・安全)		
計 画 の 期 間	令和3年度 ～ 令和6年度 (4年間)	交 付 対 象	八千代市



凡例

- 下水道法による事業計画区域(污水)
- 印旛沼流域幹線
- 幹線管渠
- 污水中継ポンプ場改築

社会資本総合整備計画 事後評価書															
計画の名称	八千代市における流域一体となった総合的な下水道整備の推進（防災・安全）（重点計画）														
計画の期間	令和03年度 ～ 令和06年度 (4年間)												重点配分対象の該当	○	
交付対象	八千代市														
計画の目標	下水道施設の更新・長寿命化対策並びに雨水管渠等の整備を推進することにより、市民の安心・安全な暮らしの確保を図る。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		265	A	265	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初	R4末	R6末
1	下水道ストックマネジメント計画に基づき、点検・調査を実施した雨水管渠の割合を6%（R3当初）から31%（R6末）に増加させる。			
	雨水管渠の点検・調査実施率	6%	21%	31%
	点検・調査実施済みの雨水管渠延長（m）／点検・調査を実施すべき雨水管渠延長（m）			
2	下水道による都市浸水対策達成率を、43%（R3当初）から44%（R6末）に増加させる。			
	下水道による都市浸水対策達成率	43%	44%	44%
	浸水対策実施済み面積（ha）／浸水対策を実施すべき面積（ha）			

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

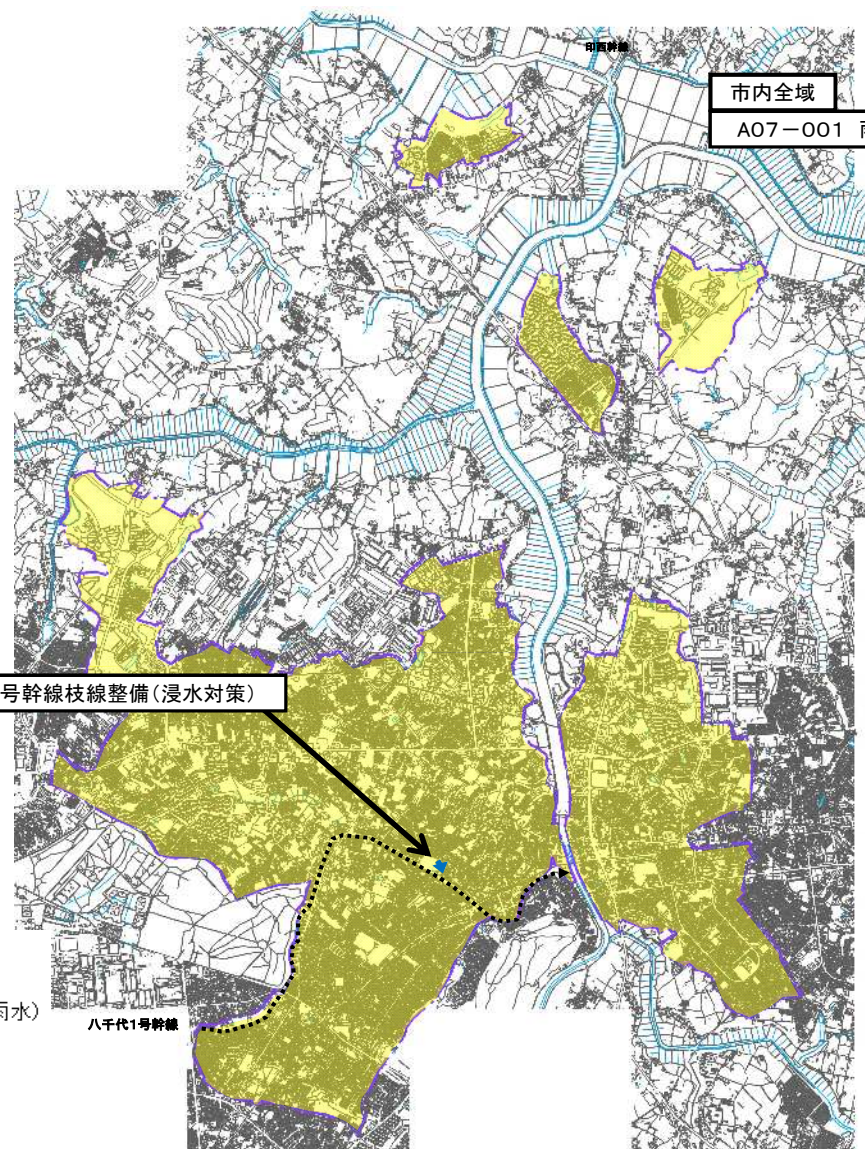
A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	八千代市	直接	八千代市	管渠（ 雨水）	改築	雨水管渠改築（下水道ス tockマネジメント計画 ）	点検、調査	八千代市	■	■	■	■		86		策定済
		下水道ストックマネジメント																	
	A07-002	下水道	一般	八千代市	直接	八千代市	管渠（ 雨水）	新設	八千代 1 号幹線枝線整備 （浸水対策）	管渠整備 L=163m	八千代市		■				179		－
											小計						265		
											合計						265		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
八千代市上下水道事業運営審議会において事後評価を実施。	令和7年12月
	公表の方法
	八千代市ホームページに公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な下水道施設の点検・調査等を行うことにより、持続的な下水道機能の確保に寄与した。 ・雨水施設の整備を実施することにより、浸水被害の軽減に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き計画的な点検・調査等を行うことにより、持続的な下水道機能の確保に努める。 ・浸水対策事業を実施することにより、浸水被害の軽減を図っていく。 	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	雨水管渠の点検・調査実施率		
	最 終 目標値	31%	一部の路線（開渠部）の調査を見送ったため。
	最 終 実績値	21%	
2	下水道による都市浸水対策達成率		
	最 終 目標値	44%	目標値を達成した。
	最 終 実績値	47%	

社会資本総合整備計画

計 画 の 名 称	八千代市における流域一体となった総合的な下水道整備の推進(防災・安全)(重点計画)		
計 画 の 期 間	令和3年度 ～ 令和6年度(4年間)	交 付 対 象	八千代市



凡例

- 下水道法による事業計画区域(雨水)
- 幹線管渠
- 新設雨水枝線

社 会 資 本 総 合 整 備 計 画
事 後 評 価 に 係 る 参 考 資 料

令 和 7 年 1 2 月
八千代市上下水道局

【資料一覧】

資料1	社会資本総合整備計画について	P2～3
資料2	社会資本整備総合交付金制度の概要 (国土交通省ホームページより)	P4～5
資料3	計画の定量的指標の根拠	P6
資料4	社会資本総合整備計画の事業進捗状況	P7
資料5	A07-001(防安並びに防安(重点)) 污水管渠改築及び雨水管渠改築の概要	P8～10
資料6	A07-002(防安) 汚水中継ポンプ場改築の概要	P11～12
資料7	A07-002(防安(重点)) 八千代1号幹線枝線整備の概要	P13～14
資料8	A07-003(防安) ストックマネジメント計画策定の概要	P15～16

社会資本総合整備計画について

1. 社会資本整備総合交付金について

「社会資本整備総合交付金」は、国土交通省所管の地方公共団体向け個別補助金を 1 つの交付金に原則一括し、地方公共団体にとって自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金として平成 22 年度に創設されました。

都市基盤施設（道路、公園、下水道など）の計画的な整備を実施するため、地方公共団体が作成した「社会資本総合整備計画」に基づき、目標実現のための基幹的な社会資本整備事業のほか、関連する社会資本整備やソフト事業を国が総合的かつ一体的に支援するための交付金となっています。

また、平成 24 年度には、地域住民の命と暮らしを守る総合的な老朽化対策や、事前防災・減災対策の取組み、地域における総合的な生活空間の安全確保の取組みを集中的に支援するため、「防災・安全交付金」が創設されました。

（※詳しくは、【資料 2】社会資本総合整備計画の概要（国土交通省ホームページより）をご覧ください。）

2. 社会資本総合整備計画及び事後評価について

地方公共団体が、「社会資本整備総合交付金」及び「防災・安全交付金」により事業を実施する場合には、「社会資本総合整備計画」（以下、「整備計画」とする。）を作成し、国土交通大臣に提出することとなっております。

整備計画の期間は概ね 3～5 年程度とし、計画期間が終了した整備計画については、整備計画に基づく事業の進捗状況や評価指標の最終目標値の実現状況などについて事後評価を実施することとなっており、八千代市では評価の透明性、客観性、公正さを確保するため、八千代市上下水道事業運営審議会へ諮問を図

り、ご意見をいただくことといたしました。

3. 事後評価の対象となる社会資本総合整備計画について

八千代市では、平成 23 年度から社会資本総合整備計画に基づき、社会資本整備総合交付金を活用した下水道施設の整備を進めてきました。

今回の事後評価の対象となる整備計画は、令和 3 年度から令和 6 年度までの 4 か年の間に事業を実施した以下の整備計画となります。

①「八千代市における流域一体となった総合的な下水道整備の推進

(防災・安全)」(計画期間：令和 3 年度～令和 6 年度)

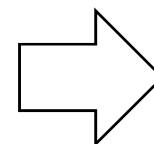
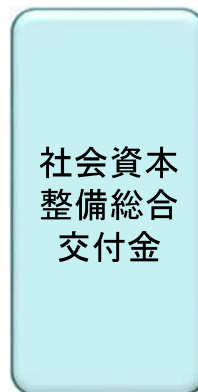
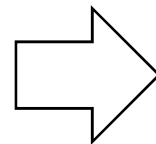
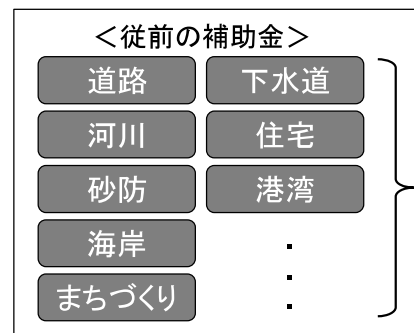
②「八千代市における流域一体となった総合的な下水道整備の推進

(防災・安全)(重点計画)」(計画期間：令和 3 年度～令和 6 年度)

①及び②の整備計画については、「防災・安全交付金」を活用し、令和元年度に策定された「八千代市下水道ストックマネジメント計画」に基づき実施した既存下水道施設の改築更新や雨水管整備による浸水対策に係る整備計画となります。今回、社会資本総合整備計画に位置付けられた全ての要素事業が完了したことに伴い、事後評価を実施するものです。

社会資本整備総合交付金と防災・安全交付金

- ◇ 社会資本整備総合交付金は、国土交通省所管の地方公共団体向け個別補助金を一つの交付金に原則一括し、地方公共団体にとって自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金として平成22年度に創設。
- ◇ 防災・安全交付金は、地域住民の命と暮らしを守る総合的な老朽化対策や、事前防災・減災対策の取組み、地域における総合的な生活空間の安全確保の取組みを集中的に支援するため、平成24年度補正予算において創設。



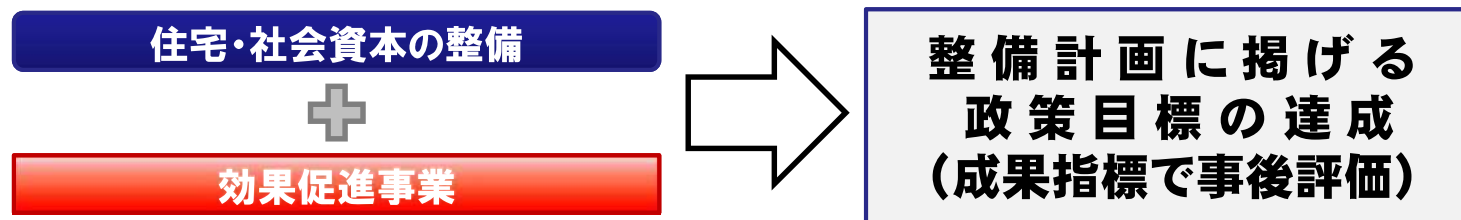
社会資本整備総合交付金 (成長力強化や地域活性化等につながる事業)	
令和2年度予算	: 7,627億円※
令和3年度予算	: 6,311億円
令和4年度予算	: 5,817億円
令和5年度予算	: 5,492億円
令和6年度予算	: 5,065億円

防災・安全交付金 (「命と暮らしを守るインフラ再構築」、「生活空間の安全確保」を集中的に支援)	
令和2年度予算	: 1兆 388億円※
令和3年度予算	: 8,540億円
令和4年度予算	: 8,156億円
令和5年度予算	: 8,515億円
令和6年度予算	: 8,707億円




※ 令和2年度予算は臨時・特別の措置を含んでおり、金額は以下の通り。
社会資本整備総合交付金: 349億円、防災・安全交付金: 2,541億円

両交付金の概要

- ◇ 地方公共団体は、地域が抱える政策課題を自ら抽出し、定量的な指標による目標を設定した、おおむね3～5年の「社会資本総合整備計画」を作成。(国は整備計画に対して国費を配分)
- ◇ 計画へ配分された国費の範囲内で、地方公共団体が自由に計画内の各事業(要素事業)へ国費を充当。
- ◇ 基幹事業(道路、河川等の17事業)の効果を一層高めるソフト事業(効果促進事業)についても、一定の範囲内で創意工夫を生かして実施可能。
- ◇ 地方公共団体が、自ら整備計画の事前評価・事後評価を実施し、HP等により公表。



15

住宅・社会資本の整備		効果促進事業
基幹事業		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 道路 ○ 上下水道 ○ 住宅 ○ 港湾 ○ 海岸 ○ 住環境整備 ○ 河川 ○ 都市公園 ○ 地域公共交通再構築 ○ 砂防 ○ 市街地 等 		<ul style="list-style-type: none"> ○計画の目標実現のため基幹事業と一体となって、基幹事業の効果を一層高めるために必要な事業・事務 ○全体事業費の2割目途
<p>(社会資本整備総合交付金の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業・観光振興等による活力ある地域の形成 例) 都市公園の整備 	<p>(防災・安全交付金の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフラ老朽化対策 例) 公園施設の改修 ・生活空間の安全確保 例) 自転車通行空間の整備  	<p>(社会資本整備総合交付金の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光情報の発信(観光案内情報板の整備、観光PR等) ・社会実験(シェアサイクル、道路の歩行者優先化等) ・計画検討・策定(住生活基本計画等) 
<p>・民間投資を誘発する取組 例) PFI等を活用した下水污泥固形燃料化施設等の導入</p> 	<p>・堤防決壊</p>  <p>・事前防災・減災対策 例) 流域治水対策(風水害・土砂災害への対策)</p>	<p>(防災・安全交付金の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップの作成・活用 ・防災教育、防災訓練の実施 ・災害時のための資機材整備(マンホールトイレ、可搬式ポンプ等) ・遊具の修繕  

※このほか、社会資本整備円滑化地籍整備事業(社会資本整備と地籍調査の連携を図り、社会資本のストック効果の最大化等を図る観点から行う地籍整備事業)等がある。

計画の定量的指標の根拠

(1) 八千代市における流域一体となった総合的な下水道整備の推進
(防災・安全)

① 汚水管渠(幹線及び重要路線)の点検・調査実施率

(最終目標値) 100%
(ストックマネジメント基本計画(H30策定)におけるR6年度末点検予定延長 35,362m)

(最終実績値) 96%
(R6年度末点検延長 34,157m÷35,362m)

… 一部の管(圧送管等)を除き概ね目標としていた管渠における点検を完了。

② 汚水中継ポンプ場の改築工事実施率

(最終目標値) 100%
(汚水中継ポンプ場の改築工事(1箇所))
(最終実績値) 100%
(汚水中継ポンプ場の改築工事(1箇所))
... 当初の目標どおり汚水中継ポンプ場(北部汚水中継ポンプ場)の改築工事を実施した。

③ 下水道ストックマネジメント計画策定の進捗率

(最終目標値)	100%	(下水道ストックマネジメント計画の策定(1計画))
(最終実績値)	100%	(下水道ストックマネジメント計画の策定(1計画))

・・・ 先行して実施していたポンプの修繕工事に不測の日数を要したことにより、策定が令和7年度となったが、目標どおり計画を策定した。

(2) 八千代市における流域一体となった総合的な下水道整備の推進
(防災・安全)(重点計画)

① 雨水管渠の点検・調査実施率

(最終目標値) 31%
(ストックマネジメント基本計画(H30策定)におけるR6年度末
点検予定延長 57,512m÷R2～R16年度 点検予定延長 184,012m)
(最終実績値) 21%
(R6年度末点検延長 38,042m÷184,012m)
… 一部の路線(開渠部)の調査を見送ったが、目標としていた流域における点検を完了。

② 下水道による都市浸水対策達成率

(最終目標値) 44%
(浸水対策実施済み面積 1,210.47ha ÷
浸水対策を実施すべき面積 2,780ha)

(最終実績値) 47%
(浸水対策実施済み面積 1,238.75ha ÷
浸水対策を実施すべき面積 2,646ha)

… 目標を達成。



I. 社会資本総合整備計画「八千代市における流域一体となった総合的な下水道整備の推進(防災・安全)」
(令和3年度～令和6年度)の事業進捗状況

種別	事業番号	要素事業名	事業内容(延長、面積等)		事業実施期間(年度)				事業費(百万円)		参考資料 対象番号
			計画	実績	R3	R4	R5	R6	計画	実績	
汚水	A07-001	汚水管渠改築 (下水道ストックマネジメント計画)	実施設計, 点検, 調査, 工事	実施設計, 点検, 調査, 工事					156	131	資料5
汚水	A07-002	汚水中継ポンプ場改築(下水道ストックマネジメント計画)	ポンプ場改築 1箇所 ポンプ場調査 1箇所	ポンプ場改築 1箇所					353	249	資料6
汚水	A07-003	下水道ストックマネジメント計画策定	ストックマネジメント計画策定	ストックマネジメント計画策定(業務は令和7年度に完了)					36	27	資料8
計									545	407	

II. 社会資本総合整備計画「八千代市における流域一体となった総合的な下水道整備の推進(防災・安全)(重点計画)」
(令和3年度～令和6年度)の事業進捗状況

種別	事業番号	要素事業名	事業内容(延長、面積等)		事業実施期間(年度)				事業費(百万円)		参考資料 対象番号
			計画	実績	R3	R4	R5	R6	計画	実績	
雨水	A07-001	雨水管渠改築 (下水道ストックマネジメント計画)	点検, 調査	点検, 調査					86	40	資料5
雨水	A07-002	八千代1号幹線枝線整備 (浸水対策)	管渠整備 L=163m	管渠整備 L=163.65m					179	179	資料7
計									265	219	

※事業費については、契約金額のうち交付対象事業費のみを計上(消費税込み)。

 …実施期間(計画)
 …実施期間(実績)

A07-001（防安並びに防安（重点））

污水管渠改築及び雨水管渠改築の概要

1. 事業実施に至った経緯

八千代市公共下水道事業は、浸水被害解消と生活環境整備を目的に、昭和 42 年 3 月に勝田台団地の整備に着手し、その後、昭和 47 年度から印旛沼流域関連公共下水道として整備を推進しております。

整備を推進している一方で老朽化が懸念される管渠も増えており、本市の下水道事業は新しく下水道管を整備する建設事業中心の体制から、既存の下水道管の維持管理に重点を置く体制への移行期を迎えつつあります。

下水道管の老朽化は道路陥没など市民生活に大きな支障を及ぼす可能性があり、対象となる延長も莫大であるため、本市の財政状況及び下水道整備計画を考慮した効率的な長寿命化計画が必要とされているところです。

このような本市の状況を踏まえ、令和元年度に「八千代市下水道ストックマネジメント計画」（以下、「ストックマネジメント計画」とする。）を策定し、対策工事等を計画的に実施していくことといたしました。

2. 事業概要

以下にストックマネジメント計画に基づき実施した各年度における污水事業並びに雨水事業の概要を記載します。

(1) 汚水事業

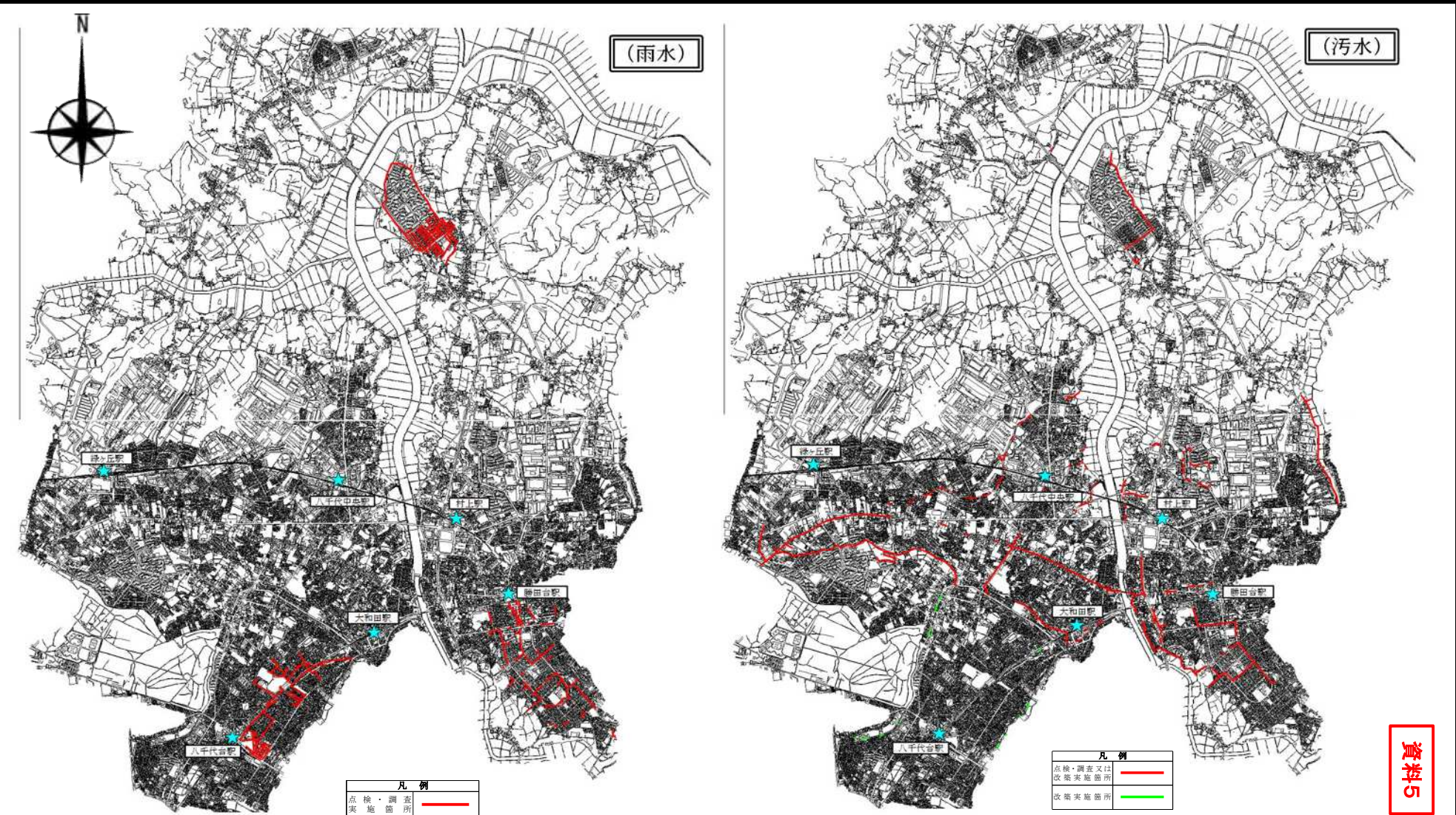
年度	事業費 (円)	補助対象事業費 (円)	事業概要
R3	38,490,000	35,710,000	○改築実施設計 L=154.13m (八千代台東 2 丁目地先他) ○管渠内 TV カメラ調査 (勝田台 1 丁目地先他) ○管渠更生工 L=153.52m (高津東 2 丁目地先他)
R4	82,410,000	76,070,000	○管口カメラ点検 (下市場 2 丁目地先他) 及び 管渠内 TV カメラ調査 (萱田町地先他) ○管渠更生工 L=353.63m (八千代台東 2 丁目地先他)
R5	5,930,000	5,170,000	○管口カメラ点検 (大和田新田地先他) 及び管 渠内 TV カメラ調査 (下市場 1 丁目地先他)
R6	15,899,400	14,068,000	○管渠内 TV カメラ調査 (大和田新田地先他)
計	142,729,400	131,018,000	

(2) 雨水事業

年度	事業費 (円)	補助対象事業費 (円)	事業概要
R3	16,880,000	15,000,000	○管口カメラ点検 (米本地先他) 及び管渠内 TV カメラ調査 (勝田台地先他)
R4	11,300,000	9,910,000	○管口カメラ点検 (八千代台北 4 丁目地先他) 及び管渠内 TV カメラ調査 (勝田台地先他)
R5	10,520,000	10,520,000	○管口カメラ点検 (村上地先他)
R6	13,325,400	5,048,000	○管渠内 TV カメラ調査 (米本地先)
計	52,025,400	40,478,000	

社会資本総合整備計画

計 画 の 名 称	八千代市における流域一体となった総合的な下水道整備の推進(防災・安全) 八千代市における流域一体となった総合的な下水道整備の推進(防災・安全)(重点計画)		
計 画 の 期 間	令和3年度～令和6年度(4年間)	交 付 対 象	八千代市



A07-002 汚水中継ポンプ場改築の概要

1. 事業実施に至った経緯

八千代市に 2 箇所ある汚水中継ポンプ場のうち、米本地区に位置する北部汚水中継ポンプ場については、平成 5 年の供用開始後、機械・電気設備の大部分が整備当初から未更新のままとなっていることから、各設備の標準耐用年数（10～15 年）を大きく超過している状況となっています。

そこで、ストックマネジメント計画時に改築が必要と判定された沈砂池設備や電気設備等を対象とし、令和 2 年度に改築工事の実施設計を行いました。

事後評価の対象となる令和 3 年度と令和 4 年度については、同実施設計に基づき北部汚水中継ポンプ場の改築工事を実施したものになり、実施にあたっては、地方共同法人日本下水道事業団へ業務を委託しております。

2. 事業概要

(1)ストックマネジメント計画に基づく北部汚水中継ポンプ場改築工事委託

①契約金額 256,280,000 円（うち交付対象事業費 248,868,711 円）

②工 期 令和 3 年 6 月 8 日から令和 5 年 3 月 31 日まで

③業務概要 沈砂池設備およびポンプ棟改修工一式

受変電設備等電気設備改修工一式

社会資本総合整備計画

計 画 の 名 称	八千代市における流域一体となった総合的な下水道整備の推進(防災・安全)		
計 画 の 期 間	令和3年度～令和6年度（4年間）	交 付 対 象	八千代市

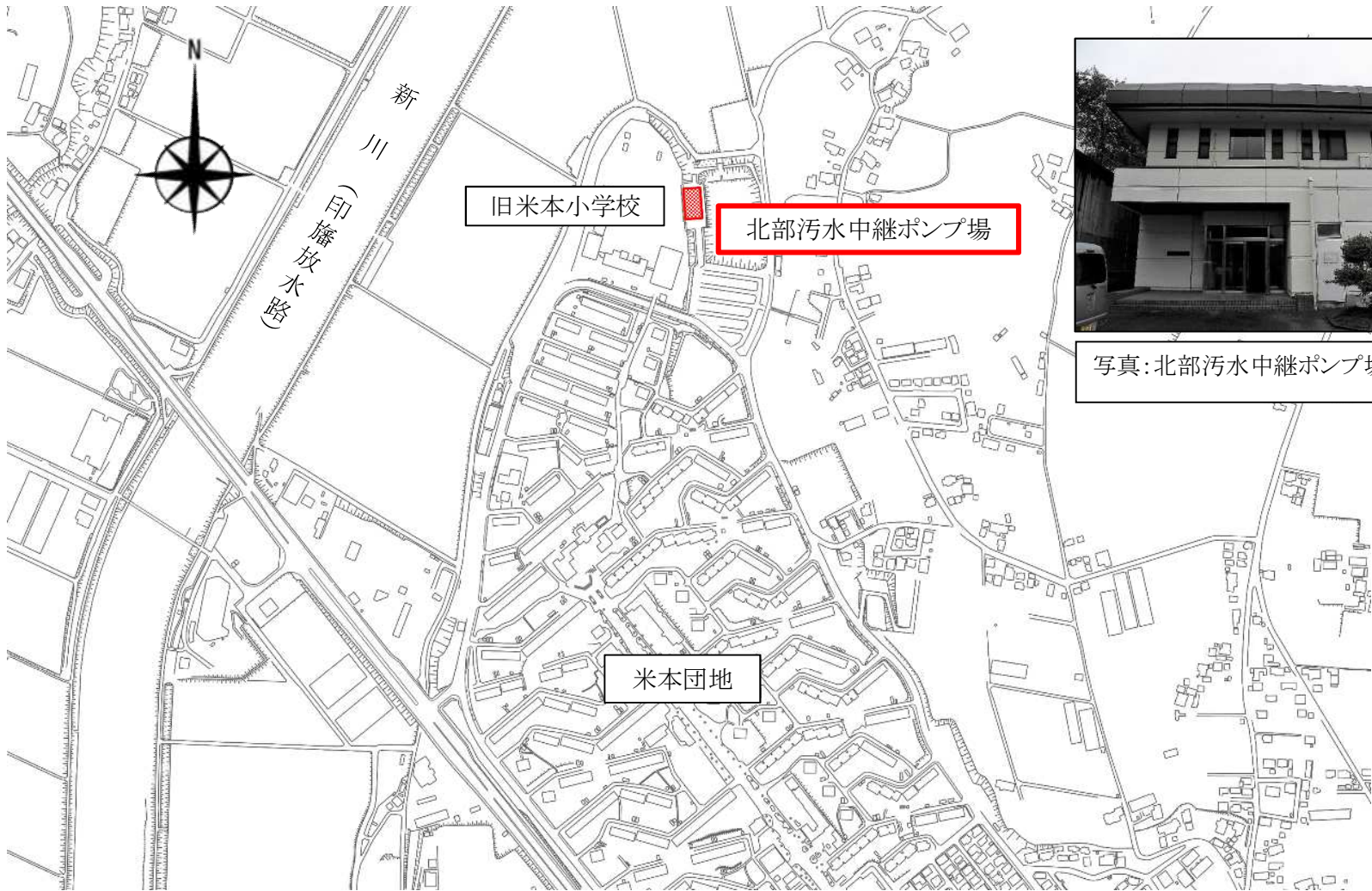


写真:北部汚水中継ポンプ場(外観)

A07-002 八千代 1 号幹線枝線整備の概要

1. 事業実施に至った経緯

本事業は八千代市大和田地先における浸水被害を軽減・解消するため、雨水管渠整備工事を実施するものです。

2. 事業概要

(1)大和田地区（大和田南小学校前）雨水排水整備工事

①契約金額 241,616,100 円（うち交付対象事業費 178,320,000 円）

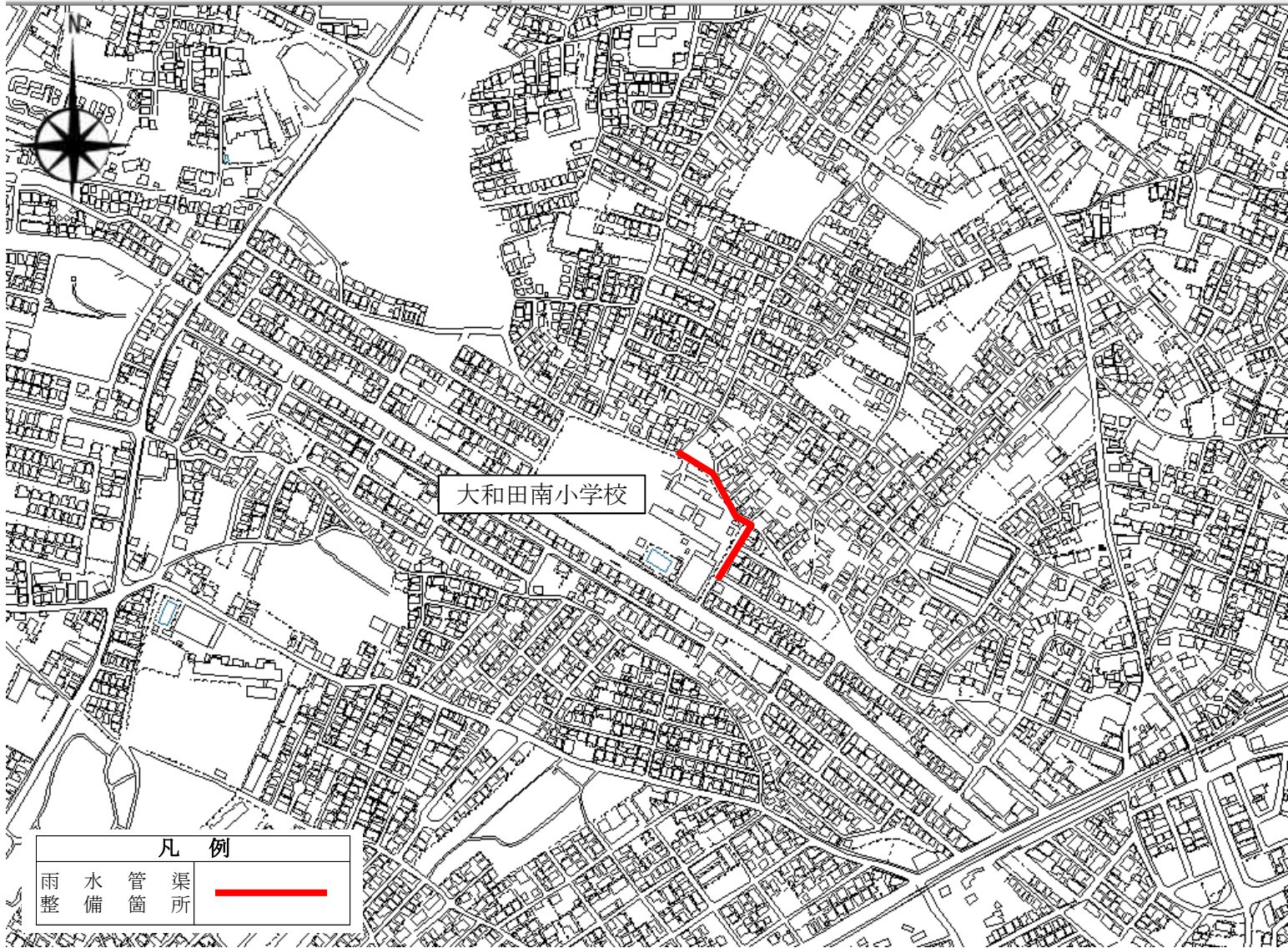
②工 期 令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 6 月 27 日まで

③工事内容 雨水管布設 $\phi 900$ L=157.06m

$\phi 800$ L= 6.59m

社会資本総合整備計画

計 画 の 名 称	八千代市における流域一体となった総合的な下水道整備の推進(防災・安全)(重点計画)		
計 画 の 期 間	令和3年度～令和6年度（4年間）	交 付 対 象	八千代市



A07-003 スtockマネジメント計画策定の概要

1. 事業実施に至った経緯

本事業は下水道施設の点検・調査から修繕・改築に至るまでの一連のプロセスを計画的に実施することを目的とし令和元年度に策定した「下水道ストックマネジメント計画」に続く 2 期計画の策定を行うものです。

2. 事業概要

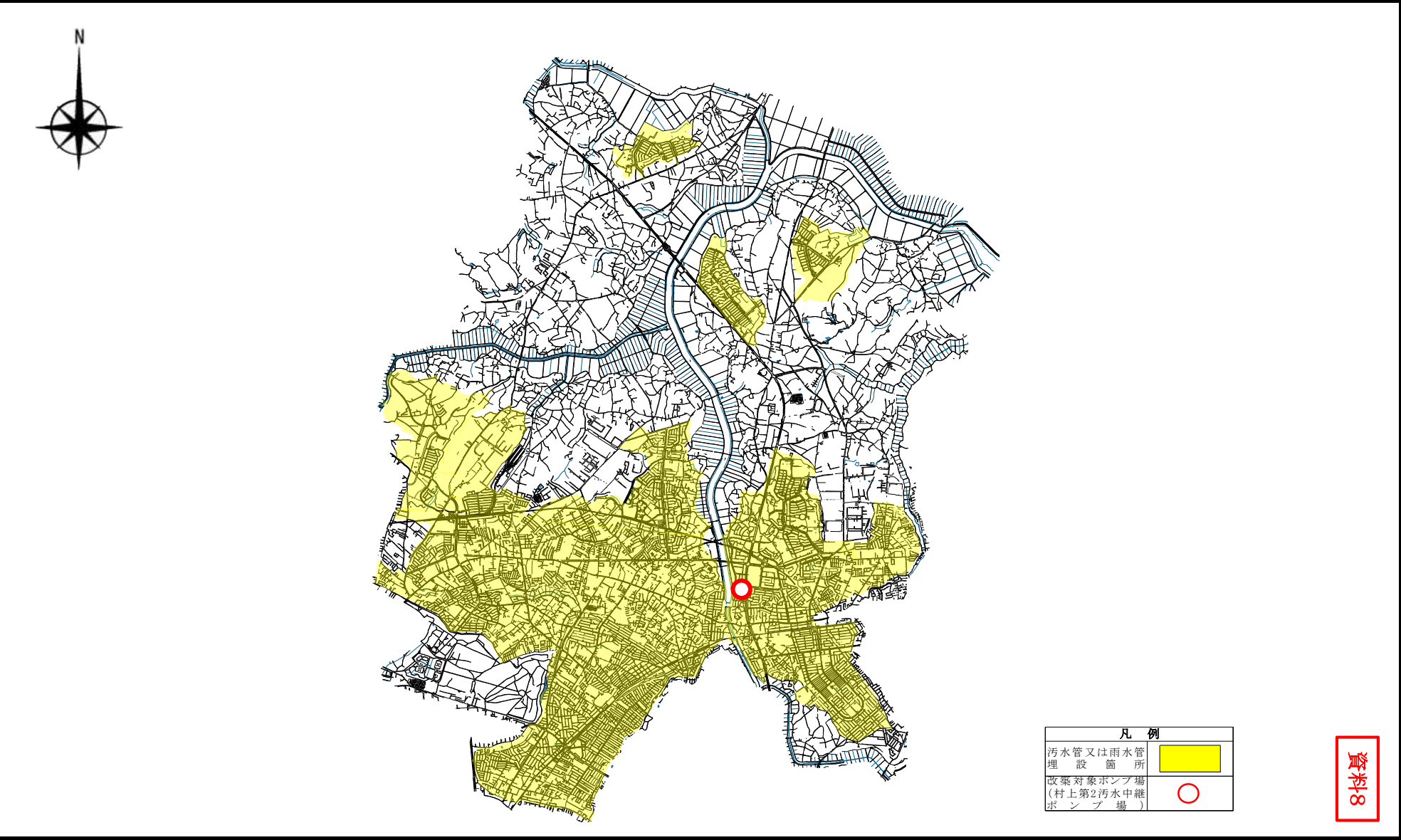
(1)八千代市公共下水道事業ストックマネジメント計画（修繕・改築）

策定業務委託

- ①契約金額 33,770,237 円（うち交付対象事業費 27,340,000 円）
- ②工 期 令和 6 年 12 月 19 日から令和 7 年 9 月 30 日まで
- ③業務概要 1 期に引き続き老朽化が進んだ地区の管渠施設や村上第 2 污水中継ポンプ場を対象とし、5 か年の具体的な改築実施計画を策定した「八千代市下水道ストックマネジメント計画」を完成させた。

社会資本総合整備計画

計 画 の 名 称	八千代市における流域一体となった総合的な下水道整備の推進(防災・安全)		
計 画 の 期 間	令和3年度～令和6年度（4年間）	交 付 対 象	八千代市



「社会資本総合整備計画事後評価(案)」に寄せられたご意見の概要と市の考え方

No.	頁	評価書記載内容	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
1	2	八千代市における流域一体となった総合的な下水道整備の推進(防災・安全) 下水道施設の更新・長寿命化対策を推進することにより、市民の安心・安全な暮らしの確保を図る。	八千代市の下水道事業の污水管渠・汚水中継ポンプ場については、老朽化が進行するなか、長期的に維持する必要性から、下水道ストックマネジメント計画を策定し、施設の損傷や劣化についてリスク評価を行い、優先順位をつけ、合理的・効率的に人材・財源・時間を投入しているようです。下水道ストックマネジメント計画に基づいた要素事業の進捗状況は、概ね滞滞なく進行しています。	今後とも下水道ストックマネジメント計画に基づき老朽化対策を推進してまいります。
2	4・5	○事後評価の実施体制、実施時期 ○事業効果の発現状況 ○目標値の達成状況	埼玉県で発生した大規模な道路陥没事故が、八千代市においても発生するのではないかと市民は心配していますが、ストックマネジメント計画の着実で継続的な推進により、事業実施率は、ほぼ達成してしまして八千代市民の安全・安心に大いに寄与しています。	埼玉県八潮市の道路陥没事故を受け、本年3月18日に国土交通省から口径2m以上かつ、1994年度(平成6年度)以前に設置された管路について、来年2月末を期限とする全国特別重点調査を行うこととし、調査の結果、修繕の緊急度の高い管路については、路面下の空洞調査を併せて実施する旨の通知が発出されました。本市では、対象となる管路延長4,050mについて、調査業務を委託しており、修繕の緊急度に応じた対策を実施してまいります。
3	10	八千代市における流域一体となった総合的な下水道整備の推進(防災・安全)(重点計画) 定量的指標値の達成状況	P2～6の「八千代市における流域一体となった総合的な下水道整備の推進(防災・安全)」につきましては、定量的指標による客観的数値によれば、污水管渠施設、汚水中継ポンプ場、次期下水道ストックマネジメント計画策定各々の進捗状況は、最終目標値に対して最終実績値は、ほぼ達成しています。 一方、重点計画の「雨水管渠の点検・調査実施率」については、未達成管渠がありますので、引き続きよろしくお願い致します。 最後に、都市浸水対策達成率は最終目標値に対して、最終実績値は市民の期待もあり被害軽減に寄与しました。 今後とも被害ゼロを目指して、市民目線で進めてください。	今後とも浸水被害の軽減に向けた対策を講じてまいります。
4	全頁	今後の社会資本総合整備計画について	特に古くて劣化した污水管渠施設は、今後南海トラフ沖地震や直下型地震も予想されており、硫化水素による腐食事故が発生する可能性があります。大変重要となる下水道ストックマネジメント計画での点検・調査については、施設ごとにリスク評価で優先順位をつけ、人材・財源・時間を合理的に配して実施しており、併せて状態監視保全・時間計画保全・事後保全を基本方針としての下水道施設の保全管理に大いに期待しております。八千代市民から「うちの市の下水道は大丈夫」という信頼が一番ですので、今後も下水道事業の実施に期待しています。	耐震化対策については、今年1月、「八千代市上下水道耐震化計画」を策定しております。大規模災害による多数の傷病者の発生に対する重要な医療施設及び避難所等を重要施設として位置付け、これらに接続する上下水道管路について、今後、概ね30年間で耐震化を完了することを目指してまいります。
5			八千代1号幹線の能力は50mm対応になっていると思いますが、近年の気候変動による大雨を考慮すると将来70mm対応となるような重点計画は考えておりますか？	ご指摘のとおり、八千代市の雨水事業については、50mm/h対応で整備を図っており、現時点で気候変動を見込んだ具体的な整備計画はございませんが、平成25年10月の台風26号により大和田地区等において時間最大降雨61.5mm/hを記録し、床上浸水約180戸、床下浸水約108戸の浸水被害が発生したことに対する対策として、地下調整池並びに流下型貯留管の整備を実施いたしました。 今後につきましては、気候変動による大雨被害を軽減するため、八千代情報メールを活用した降雨に関するお知らせや、八千代1号幹線の水位情報の発信などの対策を図るとともにそれら以外の対策についても幅広く検討してまいりたいと考えております。

No.	頁	評価書記載内容	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
6	2・5 7・10	計画の成果目標(定量的指標)	事後評価における進捗率(例:整備延長、計画策定進捗など)の算定方法について、算出根拠を示していただくことは可能でしょうか。特に、目標値設定の考え方も確認したいと思います。	<p>算出根拠につきましては、資料①-3「社会資本総合整備計画事後評価に係る参考資料」の6ページ「計画の定量的指標の根拠」にお示ししております。</p> <p>目標設定の考え方につきましては、それぞれ次のとおりです。</p> <p>●八千代市における流域一体となった総合的な下水道整備の推進(防災・安全)</p> <p>① A07-001 污水管渠改築(下水道ストックマネジメント計画)</p> <p>ストックマネジメント計画で定めた期間に予定している污水管渠の全ての点検を終える必要があるため、「污水管渠(幹線及び重要路線)の点検・調査実施率」を目標値に設定しました。</p> <p>② A07-002 污水中継ポンプ場改築(下水道ストックマネジメント計画)</p> <p>対象となる北部污水中継ポンプ場は機械・電気の大部分が整備当初から未更新のままとなっており、各設備の更新が必要となっていたことから、「污水中継ポンプ場の改築工事実施率」を目標値に設定しました。</p> <p>③ A07-003 下水道ストックマネジメント計画策定</p> <p>下水道施設について、計画的な点検・調査、修繕・改築を継続的に推進していくこと、また、計画期間が終了した前計画に変わる計画が必要となることから「下水道ストックマネジメント計画策定の進捗率」を目標値に設定しました。</p> <p>●八千代市における流域一体となった総合的な下水道整備の推進(防災・安全)(重点計画)</p> <p>① A07-001 雨水管渠改築(下水道ストックマネジメント計画)</p> <p>污水管渠と同様に、ストックマネジメント計画で定めた期間に予定している雨水管渠の全ての点検を終える必要があるため、「雨水管渠の点検・調査実施率」を目標値に設定しました。</p> <p>② A07-002 八千代1号幹線枝線整備(浸水対策)</p> <p>浸水対策が必要な地域において、下水道により被害を軽減・解消できる面積を増やす必要があることから、「下水道による都市浸水対策達成率」を目標値に設定しました。</p>
7	2・7	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	効果促進事業費の割合(C/総事業費)が 0%となっている点について、その算定対象や、0%となる理由の説明があると理解しやすいと感じました。	効果促進事業は基幹事業(交付金事業者が実施する基幹的な事業を指します)と一体となってその効果を一層高めるための事業を指しますが、本整備計画では同事業を見込んでいないことから、「0%」となっております。
8	2・7	備考等 個別施設計画を含む	本事後評価と個別施設計画(下水道ストックマネジメント計画等)との整合性について、優先順位の設定基準や、老朽化度評価がどのように反映されているかをご説明いただけると助かります。	<p>個別施設計画であるストックマネジメント計画は下水道施設の点検・調査から修繕・改築に至るまでの一連のプロセスを計画的に実施することにより、下水道施設の機能を確保し、コスト低減を図ることを目的とする計画です。この計画を着実に推進するため、概ね3～5年の期間に一体的に実施される複数の事業を社会資本総合整備計画に位置付けることで、国の交付金に基づく事業の実施が可能となります。</p> <p>優先順位の設定基準や老朽化度評価につきましては、ストマネ計画の中で、腐食環境下や設置からの布設年数及び緊急輸送路下などの様々な管渠の劣化又は老朽化の要因に対する総合的なリスク評価を実施し、当該評価の結果より優先度の高い路線から改築を行っております。</p>

No.	頁	評価書記載内容	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
9	4・5	事後評価	事後評価欄では概ね「計画通り」「支障なし」との記述でしたが、気象条件・物価上昇・施工時の制約など、運用面での課題や改善点があれば、次期計画に向けて改廃を含め、簡単に触れていただけると、より実効性のある評価になると感じました。	今後、標準耐用年数を超えた管の改築や浸水対策を実施するに当たっての事業費の捻出が課題となっていくものと想定しておりますが、良質な下水道サービスを持続的に提供するため、引き続きストックマネジメント計画に基づく下水道施設の老朽化対策並びに浸水被害軽減に向けた検討をおこなってまいります。
	9・10			
10	4・9	公表の方法	更新・長寿命化事業は非常に重要な取組であるため、住民向け広報（例：断水リスク低減、浸水対策効果など）の“見える化”を進める計画があればお伺いしたいです。今後の周知・協働の材料として期待しています。	年に 2 回発行する「やちよ上下水道だより」に随時掲載すると共に、ホームページにも掲載し、更新・長寿命化事業に関する住民向け広報を行っております。